



大樹のこころ

緊急下校時における課題

気候変動により、年々天候不順な日が増えてきています。今年度も、6月2日(金)の大雨による「全校早帰り」、6月29日(木)の雷雨による「登校待機」、そして9月11日(月)の線状降水帯発生と雷雨による「お迎え下校」と、3度にわたり子供たちの登下校時の安全を守る対応をいたしました。急なお願いでしたが、ご協力いただきました保護者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、今後も台風シーズンということで、同じような対応に迫られることが予想されます。現在これまで行った緊急時の登下校について検証し、より良い方法を模索しています。課題として大きく2点あげられます。一つ目は「駐車場問題」です。皆様もご存じのように、本校の駐車場へ出入りするためには、車が一台しか通れない狭い道を使うしかあり



ません。つまり入る車と出る車が、同時に走行することが不可能です。そこで出る車を誘導し、入る車を制限していく必要があります。先日のお迎え下校の際には、この駐車場の整理のために、4人の教職員が必要であるということがわかりました。緊急時に駐車場対応で、これだけ多くの職員を割り当てるのは、とてもたいへんです。また、学校に入る車を止める必要もあります。右折で来る車、左折で入ろうとする車が混在します。そうすると、学校前の大樹寺の通りに渋滞が発生してしまいます。学校の保護者の方は事情がわかりますが、一般の方々には理解が得られません。先日のお迎え下校で、クラスごとに細かく時間を設定させていただいたのも、駐車場へ車が殺到することを回避するためです。しかし、実際に行ってみると混雑は避けられませんでした。幸いにして天候が回復し、1・2年生のみのお迎え下校で済みましたが、今は全校児童を対象にお迎え下校を行うことは難しいのではと考えています。

二つ目の課題は「電話対応」です。緊急時にメール配信をしますと、職員室の電話が鳴り始めます。電話の内容の多くは「指定の時間より早く迎えに行きたい」「まだ登校解除はできないのか」「お迎えを〇〇さんに頼んだ」というものです。

緊急時には、教職員はそれぞれの役割で対応を行っており、職員室には事務職員しかいません。校長と教頭は情報収集をしたり刻々と変わる状況に合わせて対応を検討したりしています。そんな中で電話対応に追わ



れると、今後の対応への判断が遅れていくこととなります。先日の場合も、電話の対応によって次のメール配信が遅くなってしまう事態が出てしまいました。このような状況は、迅速さが求められる緊急時には避けたいと思います。「指定された時間に行くことができない」「お迎えを別の方に頼んだ」という連絡は、必要ありません。引き渡す時に教員が確認をしますし(すでに引き渡す方は確認済み)、指定時間に来ないからと言って子供を一人で帰すことはせず、学校で待機をさせます。ですから安心していただき、電話連絡は控えてくださると助かります。

今後も全校児童の安全を考慮して学校は対応をしていきます。ご理解とご協力をお願いしたいと思います。